

# コスモス 4月号

第73巻 第4号

◆宮柽二カレンダー(73) 四月の歌

かたくりをまた彼の山に見に行かん近づく春  
のいざ待ちがたき  
歌集『獨石馬』

昭和45年、「新しき水」八首のうちの一。同年の「新潟日報」の新年詠には「ふるさとの彼の丘山のかたくりを今年の春は見に行かんかも」とある。魚沼の方言で「かたくり」と呼ぶこの花は、山の雪が消えて現れた湿った枯れ野に陽が射して、大地が温まるころ一斉に花開く。ふるさとに春の訪れを感じさせる、皆に愛される花である。この歌では「か」音をリズムカルに配し、「いざ待ちがたき」と強意で締めた。読むほどに柽二の気持ちの高ぶりが感じ取れて、嬉しくなる。

(内山真由美)